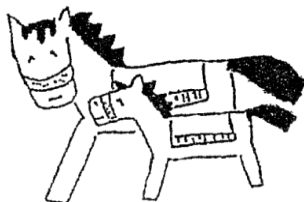


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと

23年 8月 NO. 201



(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～		8月の主な活動		～お気軽にどうぞ～
8月 6日	土	体験保育 10:00～12:00	体験保育	同じ年齢のクラスに入ってあそびましょう。
8月 6日	土	おもちゃをつくってあそぼう (偶数月の土曜日で年6回) 14:00～16:00	おもちゃをつくってあそぼう (偶数月の土曜日で年6回) 14:00～16:00	みんなで新聞紙のドームを作りましょう。 どなたでもおいで下さい。
8月 20日	土	体験保育 10:00～12:00	体験保育	出産予定の方もどうぞ保育体験に おいで下さい。
8月 20日	土	地蔵盆のつどい 17:00～20:00	地蔵盆のつどい 17:00～20:00	縁日や盆おどり、花火、人間劇など ありますので、どうぞ。
8月 24日	水	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	県立ミュージアムへ「つなげてひろげて 紙から生まれた不思議」を見に行きます。現地集合。
8月 26日	金	おはなしの会 10:00～11:30	おはなしの会 10:00～11:30	夏にちなんだ歌やおはなし、絵本、 ことばあそびなどします。
8月 26日	金	健康・育児相談 11:00～12:00	健康・育児相談 11:00～12:00	小児科園医師にゆっくり ご相談下さい(予約要)。

<ul style="list-style-type: none"> ・毎火曜日 園庭開放(13時～16時) ・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放しますので、親子でご来園下さい。 (但し、月・日曜・祭日は休み) 	<p>育児相談(月～土) 9:00～18:00 しつけや子育てについての悩み、 保育園生活、入園・見学について の相談もどうぞ。</p>
--	---

金子みすゞ
童話全集3
空のかあさま・上より

舟のお家はうれしいな。
ひろい大海旅をする、
帆にいっぱい陽をうけて、
舟で炊いだ飯たべて

海は花よりうつくしい。
金が入りがしむとき、
とおいはるかな海の果、
波はむくむくたちあがる、

霧がはれば、島がみえ、
波が光れば、魚が飛ぶ。
港を出ればひろい海、
朝風小風に帆をあげて、

あけの明星のしらむこう、
荷役がすんで、日がくれて、
となりの舟の帆柱に、
宵の明星のかかるころ、
おはなしたき火に、父さんの、
あかいたき火に、ねんねして。

お母さん、
お父さん、
それから私と、
舟のお家はたのしいな。

舟のお家



木のおもちゃで育つもの (パートⅡ)

～5感を磨き応用力を育てる～

前月 (7月号) に続き木製玩具をはじめ食器や家具、建築までも手掛ける飛騨高山の工芸村*「オークヴィレッジ」の代表 稲本 正さんに伺いました。「木」という再生可能資源で持続可能な循環型社会を実現しようと提案し続け、長年にわたって木育と森林保護の活動を続けています。



*稲本 正

作家、工芸家、原子物理学者、オークヴィレッジ代表。1945年富山県生まれ。1974年、工芸村「オークヴィレッジ」(岐阜県高山市清見町)を設立。お椀から建物まで幅広い工芸を展開する一方、植林活動を行い地球環境における森林生態系の重要性を発信し続けている。主な著書は「森の惑星」「心に木を育てよう」「木の工作の時間」など多数。

木のおもちゃが心地良いのには原理的な根拠がある

おもちゃの香りといえば、知人の出産祝いに「寄木の積木」を贈ったら、その娘がなぜかヒノキの積木ばかりを舐めると言うんですね。ヒノキは香りが良いのです。歯が出てくると痒くなるので噛んで、結局ヒノキの積木だけが丸くなってしまったそうです。香りに刺激されたのですね。これが金属やプラスチック製のおもちゃだと、こうはならなかったでしょう。それから木には殺菌力もあります。昔は、酒樽、味噌樽、醤油樽などは杉でした。他にも、山椒、ヒノキ、黒文字、モミなど。モミは抗菌効果が強くて、昔は棺桶に使っていました。黒文字は爪楊枝にして口の中を殺菌した。積木を触ったり噛んだりすると抗菌効果があるということにもなるわけです。

積木を触っていると分かりますが、金属のように冷たくなったり熱くなったりしません。これは構造の違いです。金属はすごく緻密で重く、比重が大きくて穴が開いていない。一方、木は断面が蜂の巣状になっている。それをハニカム構造といいます。ハニカムというのは蜂の巣という意味ですね。蜂の巣状になっていると、素材の間に常に空気が入っている。だから温度が比較的室温に近いわけです。金属は1回冷えると冷たくなってしまいます。飛騨ではマイナス10度近くのと看、車のドアを素手で触ってはダメなんです。金属がすごく冷えていて、触った瞬間にくっついて、離そうとすると皮が剥がれてしまう。さらに、金属は緻密だからピカピカしてて目が疲れますよね。でも木はでこぼこしている。目に良いわけです。それから、叩いた音も金属は硬いけれど木は柔らかくて心地良い。

木の音が心地良いと思うのにはしっかりとした理由があります。基本的に人間は、遺

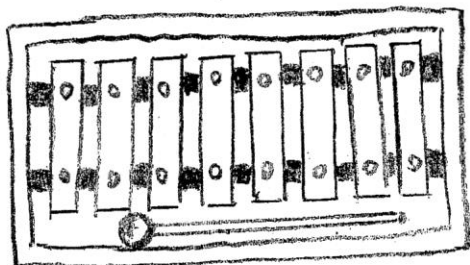
伝子的に 97%以上が猿なのです。猿は森に住んでいますから、木に触ると森に住んでいた時の遺伝子が働いて安心するわけです。大脳辺縁系という、いわゆる生きるための脳を刺激する。つまり心地良いと思うのは本能なんですね。それは原理的にも根拠がある。しかしそれが今、不足しているのです。今の子供たちを元気にするには、この大脳辺縁系を刺激すること。子供は遊んで零点とってればいい。やる気になればちゃんと勉強しますからね。勉強しろなんて言って勉強してもダメなのです。やる気になった時に勉強しないと。僕自身もそうでしたから。僕は 50 歳を過ぎてから新たな研究をはじめ、今でも一生懸命勉強しているんですよ。

携帯電話やインターネットなどいろいろありますが、進化させてきた見地からは、右脳の発達と大脳辺縁系の発達が壊れ始めているといわれています。これをいかに上手く取り戻すかということが重要なのです。

視覚、触覚、聴覚に嗅覚を加え香りも楽しめるおもちゃで木育を広げる

勘違いをしている人はコンピュータや iPod が脳を訓練すると思っているようですが、そうではない。人間はトータルで生きているわけですから。もちろん僕もコンピュータはよく使いますが、そこだけで訓練できていると思うのは間違いだということです。脳のことは僕だけが言っていることではなく、脳科学者が言っていることです。「脳には古い原始的な脳がある。そしてそれが大切だ」と。

その原始的な脳といわれている大脳辺縁系は神経のバランスや免疫をつかさどっているのです。そこを刺激することで免疫が強くなり感情のコントロールも上手くなります。その大脳辺縁系に直接届くのは香りです。「寄木の積木」で視覚や触覚を、「森の合唱団」で聴覚をと展開していますが、その次は香りも入れてより木育の幅が広がる、そういうおもちゃづくりをしていこうと研究中です。僕は 9 年位前から香りの研究を始め、日本の森の樹木からアロマを作り出しました。このような香りは高齢者の方にも良いのです。視覚と聴覚は疲れて落ちてきますが、人間がある程度若返るためには嗅覚と触覚が大切です。ですから、今、視覚、聴覚、触覚、嗅覚を含めたおもちゃを作ろうとしています。それが木育をさらに広げることになるでしょう。小さい子からお爺ちゃんお婆ちゃんまで、幅広くおもちゃとして広がる。そういう風にしたいと思っているわけです。



「森の合唱団」とは

同じ長さで樹の種類がちがいでドレミを奏でる不思議な木琴。木肌を生かし無塗装で仕上げ、グッド・トイ 2009 年に選ばれた。

時々、僕の原点を聞かれて原子物理と言うと分かりづらいようですが、そういう原点であったからこそ幅広く生きることができているのだと思っています。普通の木工屋さん、そもそも木工というところから始めて、そこから観点が離れない場合が多いもの

です。でも本当は自分たちの作る立場からばかりで考えてはいけません。使う人、例えばご老人や子どもの立場から考えないとね。僕は原点が地球だったり人間の本質だったりというところから発想を進めています。それが結果的には使う人たちのためになると信じていますから。



—おもちゃで遊ぼう (NPO 法人日本グッド・トイ委員会) —

column

木育がわかる! おすすめサイト

木育.jp

<http://www.mokuiku.jp/>



NPO法人 活木活木(いきいき) 森ネットワークが運営する木育サイト。木育の意味や必要性がわかりやすく解説されています。木育の進め方をステップ形式で説明しているほか、木育活動に便利な支援ツールのダウンロードサービスも充実。木工体験ができる施設の紹介もあります。

孫 育 て

～3歳未満お勧めは絵描き歌～

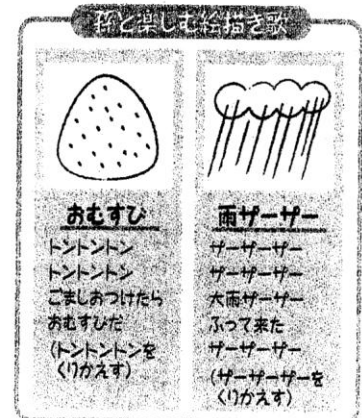
目に入れても痛くないほどかわいい孫。しかし甘やかすだけでは上手な孫育てはできない。親とうまく関わり、孫と楽しく遊ぶには、どうしたらよいか。共働きの親が増えている昨今、祖父母の果たす役割は大きい。

子育ては、あくまで親が主役。親のやり方を尊重し現在の子育て事情を学ぼう。親と衝突するトラブルは避けたいものだから、そのこつは自分の“子育て論”を押しつけないこと。「自分の時代はこうだった」ではなく「こういうやり方はどう?」など提案型にする工夫が必要だ。

孫との接し方の一例として、ことばが話せない3歳未満児を預かった時は、お絵描き遊びはお勧めです。3歳前に描くものは線や点、円などごく簡単で、なぐり描きのように見える。そんな単純な絵を使って絵描き遊びは、絵を描いていく過程やリズムカルな歌に子どもは興味を覚える。認知や言語の発達を促し、何より楽しむことができる。

例えば、鉛筆で点を打つ「ごましおおむすび」や「雨ザーザー」などです。おむすびや雲の形など難しい部分はないかいておいて、点や線を子どもに描かせてみましょう。

親と上手に付き合い、子どもの発達や興味についてよく知ることで、孫への愛情を、健やかな成長として役立てましょう。



当園では、9月から11月まで3回シリーズで孫育て講座(孫まご塾)を香川県助産師会から講師をおまねきして開催します。多数ご参加下さい。

*日時と内容

- | | | |
|-----|----------------------|----------------------------|
| 第1回 | 9月24日(土)
14時～16時 | 今と昔の子育ての変化について |
| 第2回 | 10月29日(土)
14時～16時 | 赤ちゃんとのコミュニケーション(実技あり) |
| 第3回 | 11月19日(土)
14時～16時 | 家庭内で多い事故と救急法について
(実技あり) |

○場所 — 高松保育園 本堂にて (参加費無料)

○申込先 — FAX 087 (851) 0857 TEL 087 (821) 5241 堀
(氏名、年齢、住所、連絡先をお知らせ下さい)